

地域の防災



自主防災組織

～自分たちの地域は自分たちで守る！～

自主防災組織の活動に参加しましょう！

平常時と災害時における自主防災組織の役割としては、次のようなことが考えられます。いざというときに組織力を発揮できるよう、平常時からみんなで協力し合いながら防災活動に取り組みましょう。

平常時の活動

□地域内の防災点検

災害発生時に、地域内に被害の拡大につながる要素はないか、確認を行う。



□防災訓練の実施

災害を想定した防災訓練（避難訓練、図上訓練、消火器の使用方法や応急手当訓練など）を実施する。



□防災知識の普及

防災マップの作成など、住民一人ひとりの防災意識の高揚を図る。



□防災資機材の整備

災害発生時に必要とされる資機材を、地域の実情に応じて準備し、定期的に点検や使用方法の確認を行う。

災害時の活動

□情報の収集・伝達

自治体などと連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達する。



□初期消火活動

出火防止のための活動や消火器、消防水利の確保、バケツリレーなどによる初期消火活動など。



□救出活動

負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動など。

□医療救護活動

負傷者の応急手当、救護所への搬送など。

地区防災計画

防災意識の高揚と危機管理能力の向上を図り、自助、共助によって、自然災害による人的、物的被害の発生とその拡大防止を目的としています。

地区防災計画策定済みの地区は、策定された計画も参考にして下さい。